

資料 4

別記様式（第7条関係）

記者会見連絡票

所属部署（さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－）

| |
|---|
| タイトル |
| 平成28年度 栃木県立博物館連携事業・共催展「DINOSAUR 恐竜ワールド～化石は語る」について |
| 概要（発表内容を簡単に記入してください。） |
| <p>化石の代表格ともいえる「恐竜」。恐竜ほど太古へのロマンをかき立てる古生物はいないでしょう。恐竜が生きた中生代（約2億5000万年前～約6550万年前）は、今より気温が数度高かったとされています。この温暖な気候のもとで、は虫類が爆発的に進化をとげました。陸上では恐竜、海洋では魚竜や首長竜、大空では翼竜が支配者として君臨していました。</p> <p>この展覧会では、恐竜とその時代を生きた古生物に焦点を当て、約100点にのぼる化石標本を紹介し、また、さくら市近郊の鬼怒川で発見された大型クジラ化石の産状レプリカも展示し、私たちの暮らすさくら市周辺でも地道に化石の調査研究が行われていることをご紹介します。</p> <p style="text-align: center;">会期：平成28年7月16日（土）～9月11日（日）</p> |
| 内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。） |
| <p>私たちの住む地球の誕生は、約46億年前とされています。長い地球の歴史の中で、生命は30数億年前には誕生していたと考えられています。この生命の誕生以降、多くの生物が栄枯衰退を繰り返し、進化をとげてきました。その証拠は、「化石」という地層の中に残された天然の記録を紐解くことによって知ることができます。</p> <p>本展覧会では、中生代に大繁栄した恐竜と大型は虫類、それらが生きた時代に注目しました。ジュラ紀を代表する大型肉食恐竜「アロサウルス」や大型植物食恐竜「ステゴサウルス」など、約100点にのぼる古生物標本を一挙大公開しています。また、鬼怒川河床（宇都宮市下岡本町）で発見された全長約9mの「ナガスクジラ類」の産状レプリカを展示し、私たちの暮らすさくら市周辺でも地道に化石の調査研究が行われていることをご紹介します。さまざまな環境に適応しながら進化し、滅んでいった過去の生物たちのすがたを恐竜とその仲間を通してご覧いただければ幸いです。</p> <p>【主催】さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－、栃木県立博物館</p> |

【観覧料】一般 300 円 (210 円)、高校・大学生 200 円 (140 円)、
小中学生、障がい者手帳をお持ちの方 (同伴の介護者) は無料
市内 70 歳以上の方は半額
※ () 内は 20 名以上の団体料金

【会期中の休館日】

毎週月曜日、第 3 火曜日、祝日の翌日
7 月 19 日 (火)、25 日 (月)
8 月 1 日 (月)、8 日 (月)、15 日 (月)、16 日 (火)、22 日 (月)、29 日 (月)、
9 月 5 日 (月)

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先 (所属、担当者名、電話番号)

さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－
学芸係
TEL 028-682-7123

※ 1 案件ごと 1 枚作成してください。